

F P を学ぶ意義

F P で身につける生活設計のノウハウ

1. お金の教養が必要な時代

◆ 社会、経済情勢

- (1) 急速な少子高齢化と経済成長の鈍化。→ 社会保障制度への影響。
- (2) 欧米型資本主義への移行と規制緩和。→ 終身雇用・年功序列の終焉、労働の市場化、雇用のグローバル化。
- (3) 低金利政策と円高。
- (4) サブプライムローン問題、リーマンショック。→ 世界経済の構造変化。

◆ 個人の意識変化

- (1) 個人（国民）金融資産の増大と所得格差。
- (2) ライフスタイルの多様化。
- (3) 「貯蓄から投資へ」の意識の高まり。→ 「投資」に不慣れな日本人。
- (4) 生活防衛意識の高まり。→ 付加価値より実質価値志向へ。

◆ お金の教養とは？～お金の教養を身につけるメリット～

- (1) 「お金の教養」とは、自立した人間が身につけているべき一定レベルのお金の知識や常識のこと。→ お金に振り回されない生き方をするために必要なツール。
- (2) ゼロ金利時代のホントのリスク。→ 税金、金利、手数料、為替などの知識は、お金の損得に直結する。
- (3) 総合的かつ実践的な知識は、的確な問題発見や将来の予測、それに対しての適切な判断力の元となり、長期的な視野で物事を見ることができるようになる。
- (4) お金の教養は、減らない資産である。

2. F P 講座で学ぶこと

F P 講座では、年金を含めた社会保険制度、税金や保険の仕組み、金融経済や金融商品、不動産や相続など、私達が生きていくうえでとても大切なお金の知識を体系的に学習します。

< 6分野の学習内容 >

◆ ライフプランニングと資金計画 ～F P 的思考方の土台、資産管理の方法～

- ① ライフイベント表、キャッシュフロー表、個人バランスシートの作成
- ② 住宅資金や教育資金設計
- ③ 社会保険制度一年金、健康保険、雇用保険等

◆タックスプランニング ～F P知識の要～

- ① 10種類の所得
- ②所得税の計算体系

◆リスク管理 ～最少費用で不測の事態に対処する方法～

- ①生命保険、損害保険、第三分野の保険の仕組みと商品
- ②必要保障額の考え方

◆金融資産運用設計

- ①金融経済の基礎知識
- ②金融商品と特徴（株式、債券、投資信託、外貨預金）
- ③資産運用の基本的考え方

◆不動産運用設計

- ①不動産関連の法律知識
- ②不動産取引の法律とルールおよび税金

◆相続・事業承継

- ①相続に関する民法と税法の基礎知識
- ②相続財産の評価と相続税の計算
- ③相続・事業承継対策
- ④贈与と贈与税

3. F P 3級と2級試験の共通点と相違点

<共通点>

- ①6分野の知識がまんべんなく出題される。
- ②合格基準は、正答率60% → 基準を達成した人は全員合格できる。

<相違点>

- ①3級の学科は二者択一と三者択一が各30問に対して、2級は四者択一が60問なので、2級は選択肢が多い分難易度が上がる。
- ②2級実技試験は、実際の資料（会社四季報や有価証券残高報告書、確定申告書等）の読み取りなど、より実務に則した内容の出題が多くなる。

4. 2級（AFP）取得のメリット

- ①世間的な評価は3級より高く、独立することも可能な資格である。
- ②就職、転職、独立起業に役立つ。
- ③AFP合格後、登録すれば毎月会員誌が届き様々な情報が得られる。
- ④FP継続教育認定講座で勉強する必要があるため、常に新しい知識が得られ、知識が錆び付かない。